

活用しよう！ 帝国書院ウェブサイト 授業に生かせるさまざまなコンテンツ

4年「わたしたちの県」三重県、6年「世界各国のすがた」ブラジルを例に

1. コンテンツが豊富な 帝国書院ウェブサイト

こんにちは。帝国書院広報室です。広報室は、本書『こどもと地図』など定期冊子の編集や、ウェブサイトの管理などを担当しています。帝国書院ウェブサイトには、先生方が活用しやすいコンテンツをとりそろえていますので、紹介いたします。

今年5月、主要国首脳会議が三重県の伊勢志摩地域で開催されます。ということで、三重県を例に……。



▲②『楽しく学ぶ小学生の地図帳』p.27～28

三重県は、伊勢えびやたいなどの魚介類、松阪牛などの産地で、「食の宝庫」です。歴史をみても、伊勢神宮、熊野古道、伊賀流忍者などなど。観光資源が豊富な、すてきな県です。そこで、「三重県の観光資源を、ほかの県の人々にも伝えよう」をテーマとします。

まずは、県の白地図をプリントアウトします。ここでは観光資源の所在地と照らし合わせやすい、市町村区分が入った白地図が便利です。

つづいて、観光資源を該当市町村に書き込んでいきます。観光資源は、地図帳のほか、県などの資料をあたるとよいと思います。



▲③観光パンフレット「実はそれ、ぜんぶ三重なんです！」各地域編



▲①「小学校の先生のページ」帝国書院ウェブサイトから

なお、本書『こどもと地図』のバックナンバーも掲載しています。これまでの指導案や情報は、ウェブサイトでもお読みいただけます。

授業ですぐに使えるコンテンツとしては、「白地図」「写真館」「都道府県のすがた」「世界各国のすがた」ページがあります。

2. 「白地図」「写真館」の資料を使ってみる —第4学年「わたしたちの県」

本書『こどもと地図』では、寺本潔先生による「はじめよう！ 社会科・観光の授業」コーナーを連載しています。今号（3学期号p.13～14）は熊本県天草地方を例とされています。これにヒントを得て、自県（わたしたちの県）でもやってみようというのが、本稿のねらいです。

あわせて、帝国書院のウェブサイトにある「写真で見る日本のようす」ページも活用できます。各都道府県の風土や人々のくらしぶりを写真で紹介しています。プリントアウトして白地図にはりつけるのもよいと思います。



▲④「写真で見る日本のようす」の三重県のページ 帝国書院ウェブサイトから

伊勢うどんや海女さん、ウミガメなども、三重県が誇る大切な観光資源です。

地図のつくり方ですが、観光と密接に関係のある交通網（鉄道や高速道路など）やおもな都市名もあると、理解が深まります。



▲⑤作成中の「観光地図」

さてさて、どんな地図ができるでしょうか。

3. 「世界各国のすがた」の資料を使ってみる —第6学年「日本と世界の結びつき」

今号（3学期号p.1～2）では、次山信男先生に、地図帳p.39～40①「東京都の中心部」地図についての指導案を執筆していただきました。この地図では各国の大使館を「国旗」で示しています。地図帳にもすべての国の国旗を掲載していますが、首都や人口などの基本情報とあわせて見ることができるのが「世界各国のすがた」ページです。

今年8月、夏季オリンピックがブラジルのリオデジャネイロで開催されます。ということで、ブラジルを例に……。



▲⑥「世界各国のすがた」ブラジルのページ 帝国書院ウェブサイトから

オリンピックなどの国際大会が開催されるときは、児童は国旗や世界の国々に関心を持ちやすいと聞きます。国旗についての説明文もありますので、ぜひご活用ください。

4. 最後に

帝国書院では、これからも本書『こどもと地図』およびウェブサイトを通して、さまざまな指導案や世界や日本の新しい情報などを発信していきます。

ご要望などは、同封しています「アンケート用紙」のほか、ウェブサイト内の「お問い合わせフォーム」からご連絡ください。今後ともよろしくお願い申し上げます。